

高瀬山



能登町立小木中学校 学校だより3月号

令和4年3月9日(水)

メールアドレス: jhs-ogi-daihyo@noto.ed.jp

HPにもアップしています。QRコード ⇒



「同じ」と「違う」

校長 水上 晃一

子どもの頃、親に「みんな持っとるし〇〇買って!」とねだると、決まって親からは「みんなって?」と聞かれ、「よそはよそ、うちのうち」と却下された記憶があります。教員生活で出会った子どもたちの中にも、叱っているときに「みんなやっとる」「ほかの子もしとった」などと言う子がいました。その時の子どもの心の中には、「自分だけではない、ほかの子もそうだ」「ほかと同じであることは許される」という思いが働いていたのではないかと思います。

学校では、いろいろな場面で同じことをすることが求められます。学校という集団生活では、きまりやルールに従ってみんなが同じ行動をとることが大切だからです。そのせいか1人ひとり「違っている」ことは当然であるのに、「同じ」であることに安心感を覚える部分があります。金子みすずさんの『私と小鳥と鈴と』という詩の「みんなちがってみんないい」という一節は、「違う」ことは大丈夫だと教えてくれているのではないかと思います。学校という集団生活の中でも、最大限生徒1人ひとりの個の考えや個性が尊重されることが大切だと思っています。

さて、令和3年度も残すところ1ヶ月足らずとなりました。11日(金)の卒業式で、希望に満ちあふれる2人の卒業生が伝統ある小木中学校を巣立っていきます。卒業生のみなさん、卒業おめでとう。これからも2人の活躍を応援しています。入学以来校長として3年間見守ってきましたが、2人の大きな成長に目を細めています。特にこの1年間は、最上級生として全校をしっかりリードしてくれました。そんな2人をととても誇らしくそして頼もしく見てきました。これまでの頑張りに心から拍手を送りたいと思います。ありがとうございます!

今年度もコロナ禍ではありましたが学校では様々な行事や活動が行われ、それらを通して子どもたちは心も体も大きく大きく成長しました。人間は竹のようにその時その時に節を作りながら成長するものだと思います。勉強や運動はもちろん、入学式や卒業式、体育祭や文化祭など学校で様々な行事や活動があるのはこの節を作るためです。節が竹を強くしていくように、子どもたちがしっかりとした節を作りながら、心身ともに強くたくましく成長できるように職員一同これからも頑張りたいと思います。

4月から在校生はひとつ上の学年に進級し、3年生は高等学校へと進学します。それぞれ新しい学年・学校でさらに飛躍してくれるものと信じています。保護者の皆さま、地域の皆さまには、この1年間本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。来年度も変わらぬご支援をお願いします。

第2回 防災集会 ～東日本大震災から考える～

今年も3月11日が近づいてきました。

東日本大震災が起こった後、小木中でも募金活動を始めました。募金を始めてからわずか数日で、金額は10万円をこえました。大きな被害を受けた「三陸海岸と同じリアス海岸である小木地区に住む自分たちにとって、他人事には思えない」と募金して下さった方が話していました。そんなとき、ある小木中生徒が「もし自分たちの近くで同じような地震が起こったらどうなるんだろう」とつぶやいた一言が、いまの小木中学校の防災教育につながっています。

しかし、防災教育に取り組んでいる私たちの中にも、東日本大震災という大きな出来事が風化しつつあります。そこで、小木中で防災教育をなぜ始めたか、もう一度原点に戻るために防災集会を開催しました。水上校長は、東日本大震災が起こった当時のエピソードを紹介し、「命の大切さ」や「人と人の絆」について生徒に語りかけました。第2部では、3年生から防災体操が作られた経緯と込められた願いが説明され、1・2年生に引き継ぎが行われました。これからは、この1・2年生が中心となって小木中の防災教育を進めていきます。

※今回の集会は、新型コロナウイルス感染症対策として、リモートで行いました。



防災集会で東日本大震災でのエピソードを聞いて、自分は知らなかった心温まる出来事がたくさんあったことを知りました。いろんな災害が起こったときに犯罪があることが、自分にとって当たり前じゃなくても、世界では当たり前だったことに驚きました。そして、日本、日本人の優しさを知ることができました。自分のことでいっぱいなときに、人のために気を配ること、自分には関係なくても人のために募金することなどは、難しいけど自分もできるようにしたいです。また、防災体操について改めて振り返ってみて、しっかり覚えておくことが大切だと思いました。どんな人でもできる体力向上のための体操、防災について知るための体操が小木にあってとてもよかったです。自分にできることもその中にたくさん出てくるので、覚えていざというときに使えるようにしたいです。これからも、防災について自分がすべきことや今まで何があったかをしっかり知り、生活の中に役立てていきたいです。()

自分たち3年生が新しくリメイクした防災体操について説明しました。少しギャグも入れ、楽しく分かりやすく説明できたと思います。今後、この防災体操によって小木の防災力をもっと高めてほしいと思いました。自分は、高校生になったときも小木の一員としてまた防災について考えて、行動していきたいです。()

令和3年度 いじめアンケートの結果より

本校では、毎月1回「生活をよくするためのアンケート」を行っています。その中の「いじめたことがある」「いじめられたことがある」の項目については、今年度は今までのところ0件です。今後もいじめのない学校づくりを目指して教育活動を行っていきますので、保護者や地域の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

生徒・保護者アンケート結果

2学期の終わり(12月中旬)に学校活動全般に対するアンケートを生徒と保護者の方に回答していただきました。授業は分かりやすく学校が楽しいと感じている生徒が多い反面、家庭での学習時間が不足している生徒や規則正しい生活を送ることができていない生徒がやや多いという結果でした。保護者のみなさんと協力し、改善策を実施していきます。

肯定的意見 = 回答のうち、「そう思う」・「だいたいそう思う」と回答した人の割合。

前年度比 「」 = 10%以上上昇、「」 = 10%以上下落、「」 = 上昇・下落 10%以内の変動。

生徒（学校生活）アンケート

	質問項目	肯定的意見	中間比
①	授業は分かりやすい。	100%	
②	ペア・グループ・全体的話し合いを通して、自分の考えを深めることができています。	95.5%	
③	学習のルール(学習の準備, ベル着, 始業・終業の挨拶 等)を守っている。	95.5%	
④	宿題や家庭学習に1日平均90分以上取り組んでいる。	77.3%	
⑤	毎日の起床時間、就寝時間、家庭学習開始時間は同じ時間に定着している。	86.4%	
⑥	気持ちのよい挨拶や言葉遣いをしている。	86.4%	
⑦	生徒会活動(委員会活動)に、真面目に取り組んでいる。	95.5%	
⑧	部活動に、真面目に取り組んでいる(取り組んでいた)。	95.5%	
⑨	学校は楽しい。	90.9%	
⑩	道徳の時間を通して、よりよく生きようと思えましたか。	90.9%	
⑪	朝読書を含め、読書に親しんでいる。	68.2%	
⑫	早寝・早起きしている。	72.7%	
⑬	毎日朝食を食べている。	95.5%	
⑭	体育の授業・部活動に真面目に参加している。	95.5%	
⑮	防災・防犯活動や避難訓練に真面目に取り組んでいる。	95.5%	
⑯	テレビやゲーム、パソコンなどについて、家庭でのきまりや約束ごとを守っている。	95.5%	
⑰	地域の行事に進んで参加している。	86.4%	
⑱	地域の人・もの・ことからいろいろなことを学ぶことができています。	95.5%	
⑲	学校でのことを、家庭で話している。	85.7%	
⑳	学校からの配付物は、確実に家族に渡している。	90.9%	

保護者アンケート

	質問項目	肯定的意見	中間比
①	お子さんは、「授業がわかりやすい。」と感じている。	91.3%	
②	授業では、学習のルール(学習の準備, ベル着, 始業・終業の挨拶等)が守られている。【授業参観等の様子から】	90.9%	※
③	お子さんは、家庭学習の目標時間90分以上を守っている。	56.5%	
④	お子さんは、毎日の起床時間、就寝時間、家庭学習開始時間は同じ時間に定着している。	73.9%	
⑤	お子さんは、気持ちのよい挨拶や言葉遣いをしている。	69.6%	
⑥	お子さんは、学校に行くのを楽しみにしている。	91.3%	
⑦	お子さんは、読書に親しんでいる。	47.8%	
⑧	お子さんは、早寝・早起きができています。	56.5%	
⑨	お子さんは、毎日朝食を食べている。	95.7%	
⑩	学校は、避難訓練や防災・防犯教育に積極的に取り組んでいる。	100%	
⑪	お子さんは、テレビやゲーム、パソコン等について、ご家庭でのきまりや約束ごとを守っている。	56.5%	
⑫	学校は、ふるさとや地域を大切に学習に取り組んでいる。	100.0%	
⑬	学校は、生徒の悩みや問題行動に適切に対応している。	95.7%	
⑭	教職員は、保護者の要望・相談等に答えている。	100.0%	
⑮	学校は、学校だより・学級だより、ホームページ等で、生徒の活動の様子を伝えている。	91.3%	

②※は、感染症対策により授業参観を実施していないため、評価していただいておらず、空欄としました。

『人生の主人公は自分自身』

〈第6回キャリア集会〉

『人はいつからでも新たなスタートが切れる』

今年度から始まったキャリア集会も第6回目を迎えました。小木中の先生が毎回講師となつて、自分の人生を語ってきましたが、最終回はいよいよ水上校長先生です。

私は水上神仏具店の3代目として生まれましたが、手先の不器用さ、そして都会への憧れから、家を継ぐという道には進みませんでした。大学受験を控え、英語の先生になるためどうしても行きたかった京都の大学へ進学することを決意しました。

大学生になって一番感じたのは「当たり前ของありがたさ」でした。家では当たり前だと思っていたことが、一人暮らしでは全て自分でしなければなりません。家族への感謝の気持ちが大きくなったのは大学時代でした。

教員として初めて授業をしたのは、今はもうありませんが輪島市立松陵中学校でした。授業のやり方など何も分からない自分は、徹底的に先輩の真似をしました。「真似る」と「パクる」は違います。みなさんも、何かを学ぶときの最初の一步は「真似る」ことから始めてください。

最後にみなさんにメッセージを送ります。今、ここにいるメンバーで過ごしている“今”を大切にしてください。もしかしたら、失敗もあるかも知れませんが、でも、人生に無駄なことなんてありません。人は、いつからでも新たなスタートが切れるのです。人生の主人公は自分自身です。だれも責任をとってくれませんが、自分自身が納得できるような人生を歩んでください。



3月の行事予定



3月	曜	主な行事予定	3月	曜	主な行事予定
1	火	1・2年生期末テスト①	17	木	
2	水	1・2年生期末テスト②	18	金	
3	木	1・2年生期末テスト③ 防災集会	19	土	
4	金		20	日	
5	土		21	月	春分の日
6	日		22	火	社会重要語句コンテスト
7	月		23	水	
8	火	公立高校学力検査①	24	木	3学期終業式 令和3年度修了式
9	水	公立高校学力検査②	25	金	
10	木	卒業式予行	26	土	
11	金	第75回卒業証書授与式	27	日	
12	土		28	月	
13	日		29	火	離任式 (9:00)
14	月		30	水	
15	火	小木地区防災の日	31	木	
16	水	公立高校合格発表 職員会議			